

令和7年9月

# 人権一口講座



## 『手話言語の国際デー』

みなさんは「手話（しゅわ）」を知っていますか？ 手話は、耳が聞こえにくい人や聞こえない人が、手や指、顔の表情を使って自分の思いを伝える大切な「ことば」です。

九月二十三日は「手話言語の国際デー」です。この日は、手話を使う人たちのことを知り、

手話の大切さを考える日です。わたしたちは、毎日いろいろな人とお話をしたり、テレビやスマホ等で情報を見たりしています。でも、音が聞こえにくい人にとっては、そうした情報が分かりにくいことがあります。たとえば、災害のときに「避難してください」と言われても、聞こえなければどうしていいのか分からずに、困ってしまいます。

だからこそ、手話や文字で伝えることがとても大切です。みんなが同じように情報を知ることができる社会を「情報バリアフリー」といいます。これは、子どもも大人も、お年寄りも、障がいのある人も、みんなが安心して暮らすことができる社会を作るための大事な考え方です。

熊本市では、令和2年4月1日から「熊本市手話言語条例」（手話を広めたり、使いやすくしたりするためのルール）に基づき様々な取り組みを行っています。その取り組みの一つに、市民向けの初級手話講座もあり、これまでに多くの方々が手話を学んでいます。市政だよりで講座の募集がありますので、皆さんも一緒に学んでみませんか。

（挿絵はパンフレット「熊本市 手話で伝える、手話でつながる」より引用）

ありがとう



1 左手の甲に右手を乗せて上に上げる。  
(力士の手刀と同様)

2 頭はおじぎをするように軽く下げる。